

## 「一生の思い出に残る感動的な卒業式に！」

おはようございます。前回の朝礼でお話しましたが、「三寒四温」とはいえ、昨日は、5月中旬の暑さ、今日はまた真冬に逆戻りした陽気ですね。体調の管理には十分に気をつけてください。

今日は、3月11日。未曾有の被害をもたらした東日本大震災から2年が経ちました。皆さんもあの日のことは、記憶の中に鮮明に残っていることと思います。特に被害の大きかった岩手、宮城、福島でも住宅再建が徐々に進みつつあるものの、今も約32万人の人たちが仮設住宅や借り上げ民間賃貸住宅に入居するなど、全国で避難生活を送っています。その中には、皆さんと同じ卒業期を迎えた中学生もたくさんいます。なお一層の復旧・復興を望むとともにこの状況に負けず生きていってほしいと願うところです。帰りの会になりますが、地震の発生した時刻（午後2時46分）に、犠牲になった人たちの冥福を祈り、一分間の黙祷をささげたいと思います。校内放送でお知らせしますので、よろしく願います。

さて、この一年間、「向島中最後の～」という言葉がついた様々な行事もあと来週の「卒業式」と「修了式」のみとなってきました。先週の「三年生の送る会」では、舞台発表や生徒会のビデオ、そして合唱と1・2年生の3年生を送る気持ち、3年生の先生や後輩たちへの感謝の気持ちが十分に感じられ、思い出に残るすばらしい会にすることができました。

特に、在校生から心のこもった卒業生への「桜散る頃～僕達の Last Song」、卒業生からの在校生への合唱「道」、そして全校合唱で先生方もいっしょになって歌った合唱「旅立ちの日に」、私自身も皆さんとともに歌い、感動的な送る会にすることができました。本当にありがとうございます。

歌声は、人の思いを一層高めてくれますね。来週の卒業式当日にも、もっともっと大きな歌声を体育館いっぱい響き渡らせることができれば、最高の卒業式になると思います。主人公となるのも演出するのも、君たち自身です。在校生や先生方は卒業生のことを思い、卒業生は自分自身の中学校生活を振り返り、そして、お世話になった先生方や主事さん方、後輩たちへの感謝の気持ちを込めて、最後の「向島中学校の校歌」や「式歌」を歌い、向島中学校の最後の卒業式を一生の思い出に残るものとしてください。

**「別れは過去の記憶を思い出に変える力があり、  
出会いは未来を変える力がある」**  
という言葉があります。

残り少なくなった向中で過ごす日々を大切にしてください。  
以上で、向中最後の全校朝礼のお話を終わります。